

## J Aバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成 22 年度）

J Aバンク栃木（栃木県下 J Aと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク栃木中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

この度、平成 22 年度の地域密着型金融の取組状況を取りまとめましたので、ご報告します。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク栃木の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 23 年 3 月末時点の J Aバンク栃木の農業関係資金残高<sup>（注 1）</sup>は 24,154 百万円（うち農業経営向け貸付金 20,860 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>（注 2）</sup>残高は 10,278 百万円となっています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

|          | 23 年 3 月末現在 |
|----------|-------------|
| 農業       | 20,860      |
| 穀作       | 5,025       |
| 野菜・園芸    | 5,226       |
| 果樹・樹園農業  | 1,236       |
| 工芸作物     | 87          |
| 養豚・肉牛・酪農 | 4,370       |
| 養鶏・鶏卵    | 21          |
| 養蚕       | 3           |
| その他農業    | 4,891       |
| 農業関連団体等  | 3,295       |
| 合計       | 24,154      |

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

| 種 類     | 23年3月末現在 |
|---------|----------|
| プロパー資金  | 15,674   |
| 農業制度資金  | 8,480    |
| 農業近代化資金 | 6,005    |
| その他制度資金 | 2,475    |
| 合 計     | 24,154   |

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

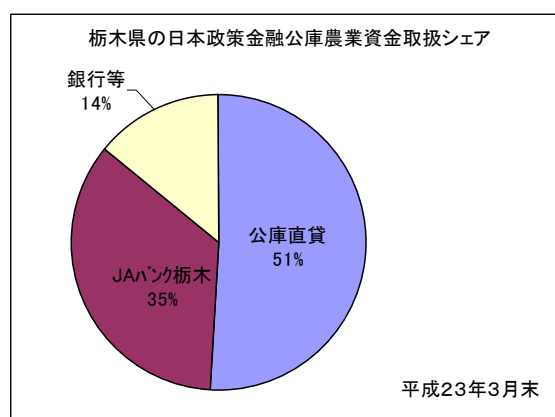
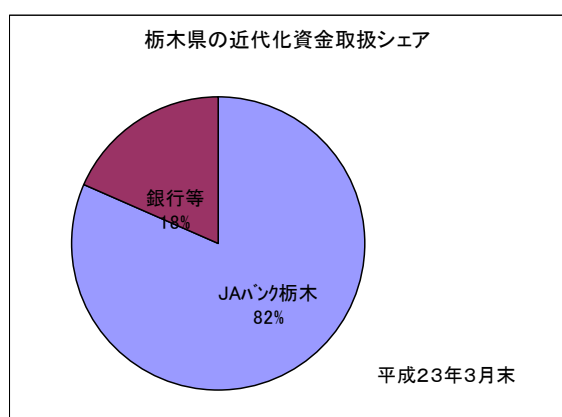
| 種 類        | 23年3月末現在 |
|------------|----------|
| 日本政策金融公庫資金 | 10,278   |

(注)

JAバンク栃木では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク栃木は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェア（公庫直貸を除く）となっています。

【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】



## (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店（所）の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関するトータルサポート・資金提案活動を行っています。

また、県内10JAの本支店（所）には70名の「担い手金融リーダー」を設置し、農業者の金融面でのサポートを行っています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポート・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化に努めています。

## (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

### 具体的取組事例

#### 【JAバンク担い手金融リーダー会議の開催】

農家支援の取り組み強化を図ることを目的に、営農・経済渉外担当者も参加対象に加え、「JAバンク担い手金融リーダー会議」を開催しました。農業生産法人の代表取締役を講師に迎え、農業経営の取組みについて、理解を深めました。



【パワフルアグリフェア】

J Aグループ栃木が主催するパワフルアグリフェア（農機具展示会）に参画し、会場内に設置したJ Aバンクコーナーにおいて、農業資金等のP R，相談活動を実施しました。



（４） 6次産業化に向けた農商工連携の推進

（社）とちぎ農産物マーケティング協会が主催する「栃木県産農産物等展示商談会」へ参画し、生産者・J Aと加工流通業者とのビジネスマッチングを行うなど、6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

| 商談会名             | 開催日     | 主催者                | 参加団体数 | 総来場者数   | 内容   |
|------------------|---------|--------------------|-------|---------|--|
| 第4回栃木県産農産物等展示商談会 | 23.1.20 | （社）とちぎ農産物マーケティング協会 | 41 団体 | 1,700 名 | 本県産の農産物や食品の販路拡大を目的とした展示・商談会を宇都宮市マロニエプラザにて開催。 |

## 2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

|            | 平成 22 年度<br>実行件数 | 平成 22 年度<br>実行金額 | 平成 23 年 3 月末<br>残 高 |
|------------|------------------|------------------|---------------------|
| 就農支援資金（転貸） | 16               | 126              | 883                 |

#### 具体的取組事例（JAはが野）

##### 【JAはが野 新規就農塾】

地域農業の担い手の減少と高齢化により、地域農業を支える担い手の育成・支援は重要課題となっていますが、JAはが野では「JAはが野 新規就農塾」を開設し、新規就農者を支援する環境を総合的に構築し、地域農業の担い手となる人材の確保と育成を図ることとしました。

**募集要項**

- 事業の内容 JAはが野管内の新規就農者のもとで1年間の研修を行い、農業経営に必要な技術・知識を習得する。
- 募集期間 平成23年2月末まで
- 対象作物 イチゴ
- 研修対象者 ①年齢18～40歳 ②研修終了後、当JA管内の就農希望地において、就農・経営を開始すること。 ③当JAの組合員となること。 ④先輩部員として活動できること。
- 募集人数 10名程度
- 研修期間 1年間（平成23年4月～平成24年3月）
- 研修内容 実際の農作業を通じての研修 講習会等での学術研修 DTVや書籍等の貸出 月給2万円（この内、研修受講料として2万円を受入農家に支払います。）
- 研修手当 申込書を提出後、「募集要項」「研修要項」の上決定

※申込については、他にも条件があります。  
 用いずが以外の品目について研修を希望される方は、ご相談下さい。  
 詳しくは下記問い合わせまでご連絡下さい。

申込・お問い合わせ先  
 JAはが野農業協同組合 研修センター（栃木県 鹿沼市）  
 住所：〒322-0002 栃木県鹿沼市藤原5-1-1  
 電話：0286-32-1111（代表） 0286-32-1112（研修センター）  
 FAX：0286-32-1113  
 Eメール：kumohi@hagano.or.jp URL：http://www.hagano.or.jp

はが野農業協同組合

## (2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

### 【平成 22 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

|           |            | 期初経営改善支援取組先 A | Aのうち期中に再生計画を策定した先数 a | Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b | Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c | 事業計画策定率<br>= a / A | ランクアップ率<br>= b / A |
|-----------|------------|---------------|----------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|
| 正常先①      |            | 67            | 1                    | 0                         | 60                       | 1.5%               | —                  |
| 要注意先      | うちその他要注意先② | 235           | 1                    | 26                        | 181                      | 0.4%               | 11.1%              |
|           | うち要管理先③    | 14            | 0                    | 3                         | 9                        | 0.0%               | 21.4%              |
| 破綻懸念先④    |            | 60            | 6                    | 10                        | 43                       | 10.0%              | 16.7%              |
| 実質破綻先⑤    |            | 103           | 7                    | 7                         | 85                       | 6.8%               | 6.8%               |
| 破綻先⑥      |            | 3             | 0                    | 0                         | 0                        | 0.0%               | 0.0%               |
| 小計(②～⑥の計) |            | 415           | 14                   | 46                        | 321                      | 3.4%               | 11.1%              |
| 合計        |            | 482           | 15                   | 46                        | 381                      | 3.1%               | 9.5%               |

注)

・ 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 22 年 2 月末時点でのものです。

## (3) JAバンク栃木講演会・セミナー等の開催

第 4 回栃木県農産物等展示商談会において、ミニセミナーを開催しました。

### 【平成 22 年度 講演会・セミナー開催実績】

| 講演会名   | 参加対象者   | 参加団体数  | 主催者  | 内容  |
|--|---------|--------|--|---|
| 第 4 回栃木県農産物等展示商談会<br>ミニセミナー<br>(23 年 1 月 20 日) | 商談会出展者等 | 110 団体 | (社)とちぎ農産物マーケティング協会<br>(セミナー提供：農林中央金庫宇都宮支店) | 講師 都築 幹彦<br>(元・ヤマト運輸(株)社長)<br>題目「不況の時こそチャンス」～クロネコヤマトの実践から～<br>「常に問題意識を持って発想の転換を」～宅急便で学んだこと～ |

### 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金による軽減支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

##### 【平成22年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

| 資金名          | 実行件数 | 実行金額 | 平成23年3月末<br>残高 |
|--------------|------|------|----------------|
| 農業経営負担軽減支援資金 | 0    | 0    | 49             |
| 畜産特別資金       | 2    | 110  | 226            |
| その他          | 1    | 17   | 17             |
| 合計           | 3    | 127  | 292            |

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 災害被災者への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

また、23年度においては、東日本大震災や原子力発電所事故の被災者の支援のため、災害対策資金の創設や利子助成・利子補給等の対応を行っているところです。

単位 件, 百万円

| 取組事例                              | J A名    | 内 容  | 件数 | 貸付実行金額 |
|-----------------------------------|---------|--|----|--------|
| 平成22年4月の降雪および降霜による被害農業者に対する災害資金対応 | J Aなすの  | J Aなすのでは、平成22年4月中・下旬の降雪および降霜で農産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。 | 2  | 8      |
| JAかみつが農業経営資金融資「21年産いちご」の対応        | JAかみつが  | JAかみつがでは、農産物(苺)価格の下落に対し、生産資材代金決済及び生活関連資金を円滑に融通するため特別資金の対応を行いました。       | 14 | 11     |
| 家畜飼料特別支援資金                        | JA しおのや | JA しおのやでは、配合飼料の価格上昇により経営に被害を受けた畜産農家に対し、行政の利子補給を受けた低利資金の対応を行いました。       | 3  | 5.7    |
| 合計                                |         |  | 19 | 7.6    |

※ 上記J Aなすのの災害資金については、農林中金、J A共済連栃木、J A全農とちぎが連携して利子補給を行い、被災農業者の利息負担をなくし、早期に経営基盤を確立できるよう支援を行っています。

## (2) J Aバンク 食農教育応援事業の展開

J Aバンク栃木は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校 395校へ、22,340セット配布され、学校の授業等において活用されています。



【写真：栃木県教育委員会須藤教育長（写真左）への教材贈呈の様子（写真中央はJ A栃木中央会高橋会長、右は農林中央金庫宇都宮支店等々力支店長）】



また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

| JA名     | 活動名                    | 活動内容  |
|---------|------------------------|---|
| JAうつのみや | 作文・図画コンクール             | 小中学生を対象に、「ごはん・お米とわたし」を題材とした作文・図画を募集し、食の大切さや命を支える農の役割について理解・関心を深める取組みを行いました。 |
| JAかみつが  | 農業体験学習                 | 小学生を対象に、学校農園で農作物づくりの農業体験学習、地産地消の取組みとして学校給食への食材提供を行いました。                     |
| JAはが野   | 農業体験教室<br>(未来ちゃんクラブ)   | 小学生を対象に、JA管内の地区（真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀）ごとに、それぞれ地域の特色を持った農業体験教室を行いました。            |
| JAしもつけ  | 農業体験学習                 | 園児・小中学生を対象に、かぼちゃ栽培、野菜の収穫体験、ぶどう・梨つみ取り体験、親子クッキング等の農業体験・調理実習を行いました。            |
| JAおやま   | 親子クッキング                | 小学生を対象に、食育のつどい、親子クッキングとして、管内で育った食材を使ったなす料理と巻き寿司づくりの料理実習を行いました。              |
| JA佐野    | 農業体験教室<br>(あぐりスクール「夢」) | 小学生を対象に、野菜の種まき・苗植えから収穫、料理して食べるまでの農業体験や調理実習を通じて、農業への関心を高める取組みを行いました。         |
| JA足利    | バケツ稲づくり体験              | 小中学生を対象に、バケツ稲づくり体験により、育成課程の観察等を通じた食農教育活動を行いました。                             |
| JAしおのや  | 児童生徒作品<br>コンクール        | 小中学生を対象に、農業に関する絵画・習字の作品を募集し、JAまつり特設コーナーに展示することで、農業の理解を深める取組みを行いました。         |
| JAなすの   | 親子農業体験事業<br>(なっちゃんクラブ) | 小学生親子を対象に、農作物（落花生、梨、そば等）の種まきから収穫、調理して食べるまでの農業体験や調理実習を行いました。                 |
| JAなす南   | 児童作品展覧会                | 園児・小中学生を対象に、農業を題材に募集した書道・絵画をJAまつりの際に食農教育コーナーを設け展示いたしました。                    |

以上